

知立駅周辺 まち育て ワークショップ

振り返り通信 vol.02

第2回
知立駅周辺エリア
まち育てワークショップ
の報告です。

2022年
11月19日(土)
13:30～16:00



まち歩きで未来を想像しよう

まち歩きでエリアの将来のすがたを
理解する



全5回ワークショップ

第1回

10月15日(土)
こんな地域がいいな

第2回

11月19日(土)
まち歩きで未来を想像しよう
—まち歩きでエリアの将来のすがたを理解する—

第3回

12月10日(土)
未来のすごし方を創造しよう(1)

第4回

1月14日(土)
未来のすごし方を創造しよう(2)

第5回

2月18日(土)
未来のすごし方を創造しよう(3)

これから大きく姿を変える知立駅周辺エリアの未来をみんなで考え、暮らしやまちを豊かにするための連続ワークショップを開催しています。(全5回)

11月19日に開催された第2回には、市民、学生、専門家、行政など、約30名の方が集まりました。駅周辺のまちの魅力や、整備事業の概要について紹介したのち、グループに分かれてまち歩きを行い、そこで発見したことを共有しました。歴史的な魅力を確認しながら、新しい整備がこれからどのようなようになるのか、想像を巡らせながらの会話が弾みました。

ワークショップとまち歩きの日の流れ



1

前回の振り返り

振り返り通信を見ながら、
第1回の成果を確認しました



2

事業の説明

知立市都市開発課の方から、知立駅
周辺整備事業の紹介がありました



3

まち歩き開始！

グループに分かれてまち歩きに出発！
東海道の歴史的な魅力を確認しました



4

屋上からの確認

屋上に上がり、整備後の風景が将来どう
なるか想像しつつ、説明を聞きました



5

整備内容の確認

整備後の道路や広場の幅や位置を確認
したり、魅力を伝えあったり。複数人
で歩くと様々な発見があります



6

気づきをメモ！

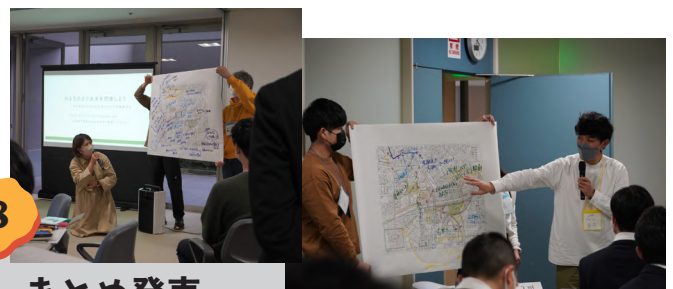
気づいたことはその都度「まち歩き
手帳」に書き留めます



7

気づきの共有

会場に戻って体験したことを
振り返ります



8

まとめ発表

気づきをグループごとにマッ
プにまとめて、発表しました

知立駅周辺整備事業について



1

知立駅周辺について

知立市の中心市街地は、これまで駅の変遷と一体となって変化してきました。かつては東海道の宿場町として栄えたのち、大正4年の鉄道開通とともにがかりターミナル駅として再び賑わいを取り戻しました。更にその後知立駅の移転と土地区画整理事業があり、市街地が拡大していきました。

知立駅移転以前



知立駅移転後



事業施行前



知立駅周辺地区の変遷

2

知立駅周辺整備事業について

現在は「100年に一度のまちづくり」として、知立駅付近連続立体交差事業を中心とした様々な整備事業が進行中です。



知立駅周辺整備事業の完成イメージ

3

知立駅周辺の現在と整備内容

鉄道高架の建設や知立駅北側の区画整理が進んできたとともに、知立駅北地区の市街地再開発事業も竣工しています。今後も引き続き事業が進行する予定です。



知立駅周辺の現在 (令和4年11月時点)
写真提供: CNK 映像様 (知立市文化協会会員)



知立駅周辺の現在 (令和4年11月時点)
写真提供: CNK 映像様 (知立市文化協会会員)

まち歩きの成果

凡例：♥ 将来楽しみなポイント ● 資源 ▲ 課題 ■ 提案

東海道エリア

- 何気ない風景の中にも、古くから続く街の歴史が残っていること
- 今ある店の小回りの良さを保ちたい
- 旧宿場町としての歴史や知立市の文化である山車文案、本陣跡などは大切に後世に残していきたい
- 唯一の料亭である岐阜屋を大事にしたい
- 岐阜屋さんや都築屋さんを積極的に利用して店を守り、このエリアを守りたい
- 東海道39番目の宿場という歴史を感じる
- 知立まつりや知立古城址のあった場所など、東海道や歴史に残る構造物などが大事
- 歴史に残る建物などを地域の人や地域外の人など多くの人に知ってほしい
- 西町児童遊園の大きなクスノキの歴史を知りたい
- ▲ 道幅や景観を残したい
- ▲ 次の世代に大事さを伝えていきたい
- ▲ 知立古城址や他にも歴史に残る建物などで印象が薄くなっているのかなと思った
- ▲ 東海道や知立まつりなどの歴史や伝統芸能の継承。歴史を知ってもらう手段が欲しい
- ▲ 空き家問題が多くなると行きたいエリアではなくなってしまう
- ▲ 南北線などの整備される道路は広くても、東海道エリアにアクセスする歩道が狭いと人の流れが悪くなるのでは
- 東海道沿いの古い建物、山車小屋、39カフェは歴史を感じることができるので、街道沿いも街並みが揃うといい。駅前は高度利用されるので、東海道は昔の雰囲気を残したい
- 雰囲気だけでも残していきたい
- 39カフェ。隣接する公園を整備することで、SNSを通じてPRすることが可能になるかも

駅前公園

- ♥ 子育て世代として、公園がどのように整備されていくのが楽しみ
- ♥ 様々な人が自由な発想でイベントを企画したりできる空間になるといい
- ♥ 広場でのバンドや演奏等の音出しができるとよい
- ♥ 公園の拡大により、市のイベントを行いやすくなる
- ♥ どんな風に活用していけるかと考えること自体がワクワクする
- ▲ 他の地域ではせっかく広場があっても周辺住民から苦情が出て音出しができないという話も聞く
- ▲ 公園と30m道路が隣接することで、子供の事故が起きないか心配である
- 対立するのではなく地域の理解を得ながら実現方法を探っていく必要がある

駅周辺全体の賑わいづくり

- ♥ 駅に「訪れてみたくなる」ような空間
- 駅前の飲み屋
- 知立南北線でイベントやイルミネーションを開催した際に、広場や公園でも連携イベントを開催して駅前全体のにぎわい作りを行う
- 周辺の公園・広場で人の移動が生まれるような連携イベントを組んでどうか

暫定広場の活用

- ドリームマルシェ等の取組・活動(駅前のイベント)

堀切公園

- ♥ 時間をかけて公園のありかた、使い方を育てていけるとよい
- ♥ 公園の活用も駅周辺再開発と併せて考えるべき。広さ的にスポーツイベントも可能ではないか
- ♥ 子育て世代として、これまでは市外の公園に遊びに行っていたが、どのような公園になっていくのか楽しみ。利用しやすい公園になっていってほしい
- ♥ 堀切公園は老若男女の市民の居場所になりそうで期待できる
- 学区の盆踊りがあるのでそれは残していきたい
- 高架下にカフェやショップなどを誘致して南側も盛り上げていきたい
- 公衆トイレへの落書きなどが多いが、公園内にお店が1店舗でもできれば防犯性が増す

知立南北線

<交通>

- ♥ 一方通行や細く入り組んだ道によるストレスを軽減できる
- ♥ 30m道路、駅前広場の整備で交通結节点としての機能がより強化される
- ♥ 歩道が広くなることで市民の安全が確保され、事故が少なくなりそう
- ▲ 環状線と30m道路の交通量と周辺道路の渋滞等の懸念
- ▲ 人の流れを駅前からどうもってくるか？
- ▲ 徒歩で東西に渡るのに困らないか
- 30m道路もトランジットモールなど広場の機能を持たせれば街がつながるのでは

<イベント>

- ♥ シンボルロード沿いで行われるであろうイベント。地域の飲食店から出店してもらうなども良い
- ♥ キッチンカーやイベントをする場所として活用が期待できる
- ♥ 地域おこしのイベントなどを行うのにより場となりそう
- ♥ スポーツの体験イベントをしたい
- ♥ 広い歩道や広い公園の整備でにぎわい空間が増える。イベントなどで街へ出る人が増える
- シンボルロードに山車を展示するなど、山車の活用を行う
- 東海道の当手を再現するようなイベントを行う
- 人の流れを意識して飲食店を配置したり、イベントや空間づくりをしていけると面的ににぎわいが広がっていく
- 山本学園のファッションショーを開催する
- 広い道路の特性を活かして夏祭りなど歩道車道を使って開催したい
- 大きめの街路樹を植樹したら冬はイルミネーションができる



知立南北線沿道・周辺

- ♥ 南北道路の沿道にどのような店舗を誘致するのか楽しみ
- ▲ 東西の街の分断が起こらないか
- ▲ 今後展開される駅の南側や南北線拡大にかかるエリアの立ち退きなどがうまく進むのか(住民理解をどう得ていくのか)
- 学生でも過ごせるおしゃれなカフェがほしい

駅前広場と駅周辺

- ♥ 整備される駅前広場のにぎわい活用
- ♥ 駅前のスペースにどこまで商業施設ができるかが楽しみ
- ♥ 学生がアルバイトなどで多く集えたとその他の人たちもあつまりそう
- 今駅前にあるベンチは利用者も多く、必要とされている
- ▲ 駅前にどれだけ店舗が集約されるかが課題の1つ、その点では刈谷はうまくまとまっている、安城はバラバラの印象がある
- ▲ 店舗も数ではなくどれだけ連なっているかが重要かと思う
- ▲ 慢性的な渋滞の解消
- ▲ 駅前に緑が少ない
- ▲ 駅前周辺で、どう歴史や文化を伝え・紹介できるか？
- 駅前に街の案内所を作り、街の回遊を誘導する
- 知立まつりについての案内は駅前にもっと大きくほしい
- 駅に隣接した滞留空間で人の居場所作り

歴史の魅力と新しい整備との全体的な構想が必要

- ▲ 東海道という旧宿場町と鉄道高架や区画整理によって新しくできる街並み（現代版宿場町）を、ハード整備とソフト整備によって、どう表現していくか？
- ▲ 現代版宿場町がイメージできない
- ▲ 現存する古い建物は残すべきと思うが、何をもって知立市らしさにつなげていくか、方針や方法がある
- ▲ 面的な広がりを意識しないと点だけのまとまりのないまちになる
- ▲ 開発範囲が思ったより狭い。使い勝手、街の活性化などの優先順位を決める必要があるのでは？
- 将来的な利便性や新たな都市の魅力づくり等の開発と昔からある歴史的資源の維持の両立が大事
- 駅周りは近代的で、本町は歴史的であり、エリアごとのコンセプトを決めることで新旧の両立ができそう
- 歴史文化と新地町とで自然に人がめぐる流れを作る全体構想
- 高架事業及び区画整理事業、文化遺産、交通施設のすべてを活かせる集客施設構想（パーク）が必要
- 歴史のある場所と駅前のギャップを作り出すためにも東海道の雰囲気を残した方が良いと思う

誇りの持てるまちに

- ♥ 知立駅の立体交差事業が実現することで、人口の増加が期待されると思った
- ♥ 各年代の人が良かったと思える知立市になってほしい。他市の人からうらやましがられるまちになる
- ♥ 知立と言えばこれ！という目玉が欲しい！

日常的な賑わい・商業集積について

- ♥ 新しい店舗等による商業の発展
- ▲ 駅周辺の商店街（北側、南側）がにぎわうようになってほしい
- ▲ 祭りやイベントのときだけでなく、日常的な人の流れやにぎわいをどう創り出していくか？
SNSの活用なども検討していければ
- ▲ 昼間に開いている店が少ない
- ▲ 駅北側の商店街のにぎわいが無い
- 若者の使いやすい店が欲しい

歩いて楽しいまちに

- ♥ 小学校の遠足などで公園を回遊してもらえ
(堀切2号公園で遊び、駅前公園でランチをして、西町児童遊園で歴史を感じてもらおう。など)
- ♥ 子供の歴史学習にもなる
- ♥ まち歩きが楽しいまち
- ♥ 踏切がなくなることで回遊性が高まる
- 新地公園や隣接する図書館、歴史民族資料館への来訪者も増やせるのでは
- ▲ ベンチなどまち歩きをしながら過ごせるような空間が少ない
- ▲ 歩きやすさを感じられない歩道
- ▲ 駅、道路、駅前広場などが再整備され、素晴らしいものになる一方で、道路や高架で分断される
- ▲ 駅を中心ににぎわいを連続させ、歩いて楽しいウォークアブルな駅周辺にするためには、
さまざまな仕掛けや工夫が必要だと思う
- ▲ 乗り換え駅なので、どのように降車してもらう（知立を楽しんでもらう）か？

安心して過ごせるまちに

- ♥ 高架事業や道路事業による交通ネットワークを充実し、今以上に移動の便利な都市になることで、暮らす・住む場所としての魅力が増す
- ♥ 公園や広場が増えることは憩いの場が増えるので期待している
- ♥ 定住人口の増加
- ♥ 駅周辺の整備で子どもからお年寄りまで集える場所になりそう
- ♥ 整備により住みたいまちランキング上位に知立市がランクインしてほしい
- 道路整備、公園整備などで、地域住民の人が「安心して過ごせる」ことを大切にしたい
- ▲ 日常を育くむ視点が忘れがちになる

交通利便性の良いまちに

- ♥ 駅を利用する人の増加
- 愛知県のほぼ中心、西三河の玄関口として、交通の要衝機能を生かす
- ジブリパークのある愛知の利点を生かす
- 学生含む駅利用客が多いこと
- 電車や車での便の良さ

美しいまちに

- ♥ 電線の地中化→美観地区のような美しい街へ
- ▲ 道路沿い（コース中のあちらこちら）に雑草が生えている。秋花粉の原因になっている植物もあるので、花粉症の人にはつらい

持続可能なまちづくりに

- SDGs 未来都市という名の通りの素晴らしい街になって欲しい
- 地域内に太陽光パネルを置いて、その電力を使って EV カーシェアリングをし、観光や目的地への移動に使ってもらう、地産地消を推し進めるなどの持続可能なまちづくりをすすめたい

駅周辺から広域への波及をどう促すか

- ♥ 知立駅前が整備され、駅前広場や公園など各年代の方が楽しんでもらえるイベントが実施できるのでは
- ♥ 知立神社や遍照院（弘法さん）と、知立駅を結ぶ人の流れの回遊性
- ▲ 30m 道路もでき、商店街や東海道など外のエリアまで足が伸びないのではないか
- ▲ 駅周辺、または知立市内の広域にわたって人の流れがどうなるのか？区画整理地域外への波及をどう促していくのか？
- ▲ シンボルロード以外（周辺）の道路整備も必要なのではないか？
- ▲ 旧国道1号は歩いていて少し危ないと感じた。もう少し整備されるとよいのではないか
- ▲ 再開発をするか否かは大きな課題
- ▲ 核となるエリアやストリートがない
- 3階構造の知立駅の壁面活用
- 他の店舗とうまく役割分担し、駅の外にある各エリアに人が流れるようにしたい

地域への周知や機運の盛り上げ

- ▲ 未来を想像して楽しくなるワクワク感をどう多くの人と共有するか
- ▲ 東海道に残る建物も、知立駅周辺の整備・開発も、あまり気付かれていない
- ▲ 移転や再開発に伴う地域住民への周知は充実させるべきだと思う。どう変化するのか？など利用されている地域住民の人に伝えていかないと困るし、トラブルになりかねない
- ▲ すごく良い店や場所、伝統などがあるのにそれが伝わっていないこと
- SNSなども「誰かが」ではなく、市民、行政、民間の事業者（飲食店など）など、誰もが主体的に発信したり担い手になったり関わってくれるようになってほしい

駅舎・高架下の利活用

- ♥ 高架下など地上レベルの使える空間が駅周辺に増えるので、子育て施設や店舗など様々な活用が期待できる
- 鉄道高架下の活用（高架下商店街等）

駐車場などに

- ▲ 駐車スペースが十分にとれないと、大きな道路があっても店に寄れない
- ▲ 自動車で来訪する人も多いと思うので駐車場の整備等も一体的に考える必要がある
- 駐車場が少し離れた位置にあると、人が歩き、動線の歴史や店が目に入る

その他

- ▲ 総予算はどの位なのかによって、取り組み方が左右される
- ▲ 時代の変化に遅れないようスピード感をもった開発が必要

グループワーク・発表の様子

1班



再開発される駅周辺のにぎわいや人の流れを、より広域に広げていくための工夫や仕掛けが必要になると思います。「誰かが」ではなく誰もが主体的にかかわってくれるようになってほしいです

2班



旧宿場町であり江戸時代のメインストリートである東海道が通る古き良き知立の資源や文化を継ぎながら、これからのメインストリートである南北線をうまく活用し、かつての活気以上に魅力ある街に

3班



新地の繁栄と古い街並みの維持は両方とも大切！車や人の動きを総合的にとらえて回遊を考えると共に、新しい施設と現存する建物のどちらにも人々が足を向ける魅力づくりを考えていきたいです

4班



道路や公園そのものだけではなく、まわりの資源や環境、地域の連携を一体的に進めて、みんなで豊かなまちを育みましょう

5班



日常の暮らしの視点が大事だと思います！子育てしやすい環境やお年寄りの居場所などが欲しいです

地区が大きく変化するときです。整備そのものを考えるだけでなく、南北線により周辺の交通の流れはどうなるか、といった将来起こる変化を全体的にとらえて、将来像を考えていきましょう！



大日本コンサルタント株式会社
森田紘圭

アンケートより

(1) まち歩きワークショップに参加して

- ・普段知立のまちを歩くことがあまりなく、とても貴重な体験ができた。将来の知立について色々お話を聞く中で、知立に対する関心がさらに深まった。
- ・皆さんと歩きながらまち歩きができて、楽しく過ごせた。自分の目で見て感じられる時間はよかった。
- ・どのように変わりゆくのか、実際に歩いてみることで実感することができた。
- ・時間も限られているので、限界があると思うが、他の人はイメージできたのか？

(2) ワークショップの運営について

- ・5回のワークショップで最終的に何をするのか。それが何になるのか。示したほうが参加者がやりやすいと思う。
- ・第2回目からの参加だが、「振り返り通信」が配布されたので、前回の様子を知ることができ助かった。

知立駅周辺エリアまち育てワークショップ 振り返り通信 vol.2

発行日：2022年12月10日

発行：知立市市民部 経済課 商工観光係（0566-95-0125（直通） keizai@city.chiryu.lg.jp）

協力：大日本コンサルタント株式会社、NPO 法人まちの縁側育くみ隊